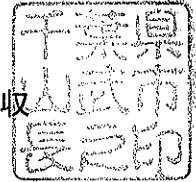


都計第89号

平成19年5月8日

国土交通省道路局長 様

山武市長 椎名千収



中期的な計画の作成にあたってのご意見の提出について（回答）

本市の道路行政につきましては、日ごろ格別の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありましたこのことについて、別添のとおり回答いたします。

担当

都市建設部都市整備課

都市計画係 織田

電話 0475-80-1191

各論としての当地域における最優先課題は「首都圏中央連絡自動車道の早期完成」です。

首都一極集中が進む中、首都圏内の地域の活力には顕著な格差が見られます。その最大の原因は交通網の整備の遅れにあると言われます。これは成田国際空港の周辺地域における格差においても同じことが言えます。

この道路の完成は単に地域活性化にとどまらず、首都機能を最大限発揮する上にも重要であり、あらゆる面から優先課題の筆頭に置かれるべきものと確信します。

一般論としての意見は以下のとおりです。

### 1. 重点化を進める上で特に優先度の高い施策

市町村間を結ぶ幹線道路においては、市街地部の整備状況に地域格差が生じております。

今後のまちづくり（高齢化、市街地の活性化、安全な地域づくり等）に対応した、電柱の地中化、バリアフリー化、そして景観形成に配慮した道路整備が必要で地域活性化につながる整備が重要である。

### 2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

全国統一の規格の道路作りではなく、地域の実情、土地利用等を踏まえ短期間で効果が目に見える道路整備をすることで地域活性化につながる事業を推進すべきである。

### 3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見

地方重視といわれている社会状況においても大都市圏を中心とした整備プランで、地方中小都市における道路整備のあり方が見えていない。

したがって、地方中小都市における幹線道路の整備が急務で中期的計画において重点施策とすべきである。